

令和4年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補 県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	上野原市西原	地区名	(主) 上野原丹波山線(飯尾バイパス)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	--	------	--------	-----	---------------------	------	-----

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H25~H30	H25~R4	H25~R13
総事業費	900 百万円	900 百万円	1,560 百万円

④特記事項 (関連事業概要等)
 【整備中】道路改良 L=140m W=5.5 (7.0) m H26~R5、事業費 C=2.4億円
 【既整備】道路改良 L=660m W=5.5 (7.0) m H15~H25、事業費 C=10.5億円

(1) 事業の概要

①事業目的及び効果

本路線は、上野原市柵原から北都留郡丹波山村に至る全長約29kmの主要地方道である。当該区間は、幅員が狭小で道路線形も悪く、交通の隘路となっており、未改良区間の解消を図る必要がある。また、本路線は、緊急輸送道路に指定されている地域住民の生活道路であるため、災害に強い道路の確保や市町村中心地へのアクセス向上に資する道路改良を整備するものである。

- 主要目標 ○災害に強い道路の確保
- ・危険度(落石等)：要監視箇所あり
 - ・損傷度等(落石等)：通行止め実績 5回>2回以上 ※
 - ・緊急輸送道路の指定：有 ※
 - ・自動車交通量：1042台/12h<3314台/12h以上(平日) ※
- ※評価基準値
- 副次目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上

□副次効果 ○アクセス機能の維持

②事業概要

道路改良 L=650m W=5.5 (7.0) m

③全体計画

		令和3年度まで	令和4年度 (評価実施年度)	令和5年度以降
現計画	工事内容	調査設計 用地補償 道路改良 橋梁工	道路改良 道路台帳整備	/
	事業費	839 百万円	61 百万円	
変更計画	工事内容	調査設計 用地補償	用地補償 水文調査	用地補償・水文調査 道路改良・橋梁工 道路台帳整備
	事業費	105 百万円	20 百万円	1435 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

⑤これまでの評価状況

なし

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

上野原丹波山線道路整備推進連絡協議会や地元から早期整備の要望を受けている。

②産業・経済情勢

なし

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

「山梨県総合計画」（令和3年7月改訂）
 「山梨県強靱化計画」（令和2年3月改定）
 「山梨県社会資本整備重点計画-第四次-」（令和3年3月改定）
 「道路の整備に関するプログラム」（令和3年3月改定）

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費		900	百万円	1560	百万円
工期		H25~H30		H25~R13	
評価基準年		H25		R4	
経済 効 率 性	費用	789	百万円	1290	百万円
	建設費	744	百万円	1239	百万円
	維持管理費	45	百万円	51	百万円
	その他()		百万円		百万円
	便益	960 (1179)	百万円	1368	百万円
	走行時間短縮	941	百万円	999	百万円
	走行経費減少	14	百万円	100	百万円
	交通事故減少	5	百万円	15	百万円
	その他※	(219)	百万円	254	百万円
	B/C		1.2 (1.5)		1.1

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、通行規制解消便益、救急救命率向上便益、観光客増加便益

() は着手時点の追加便益を見込んだ場合

（3）これまでの計画変更等の概要

一部の地権者より事業の理解が得られず、地元調整に不測の日数を要したことにより計画期間を4年延長し、令和4年度までとした。

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。

R4年度進捗率(現計画) 100%→(実績) 13.9%→(変更計画) 8.0%

②進捗率実績が計画と相違している理由

計画による一部地権者の同意に不測の日数を要したため期間が延長となった。また、地質調査の結果により支持地盤層が変更となり、擁壁工、橋梁基礎工の変更と取付道路の延長変更による事業費の増加となった。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
法面構造の変更	300百万円 増	地質調査の結果、脆弱な地質層厚が想定と異なっていたことにより法面对策工の構造を変更したことによる増額。
擁壁工	250百万円 増	地質調査の結果、擁壁工基礎構造の変更と盛土材を流用から購入にしたことによる増額
橋梁工	110百万円 増	地質調査の結果、橋脚基礎工天端高さを変更した結果による増額
合計	660百万円	

※事業費増額には資材、労務単価上昇による額を含む

④事業期間の変更理由及び進捗予定

計画による一部地権者の同意に不測の日数を要したため期間の延長となった。今年度の地元説明にて計画の了解が得られたため、引き続き用地取得を実施し事業が進捗するよう努め、令和13年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

用地の早期取得を目指すとともに、事業の整備効果を発現させるため、工事の早期着工を目指す。

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続 見直し継続 ・ その他 ()

(理由)

一部地権者の同意に不測の日数を要したが、地元説明にて了解が得られたことから、今後も引き続き事業進捗を図るべく、早期用地取得に努め、整備効果が発現できるよう、変更計画に基づき令和13年度の完成を予定している。

○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

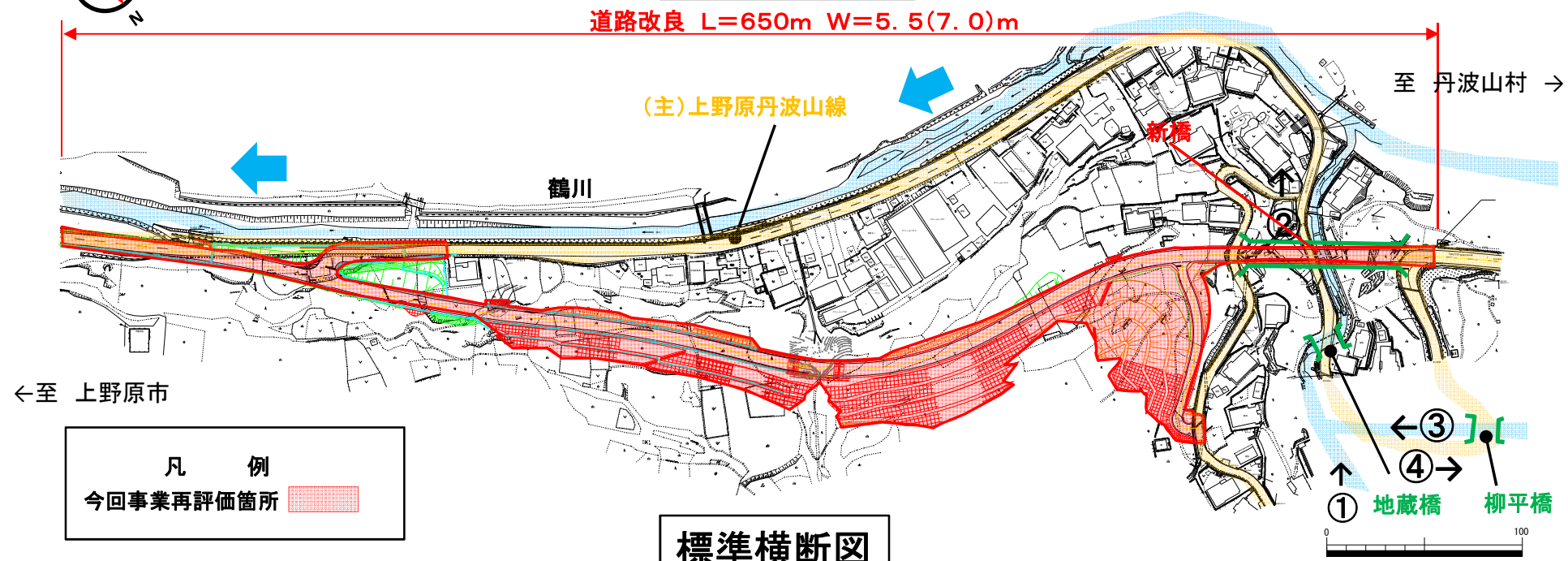
	年度	*H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	*R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
現	計画	2.9	4.8	11.1	22.3	41	54.5	70.1	85.4	95.7	100.0										
	実績	4.3	7.1	7.7	8.2	9.1	9.4	10.5	11.4	11.7	13.9										
変更計画											8.0	14.8	30.1	43.6	53.2	61.6	74.4	87.2	94.9	100.0	

*事業着手年度又は評価年度

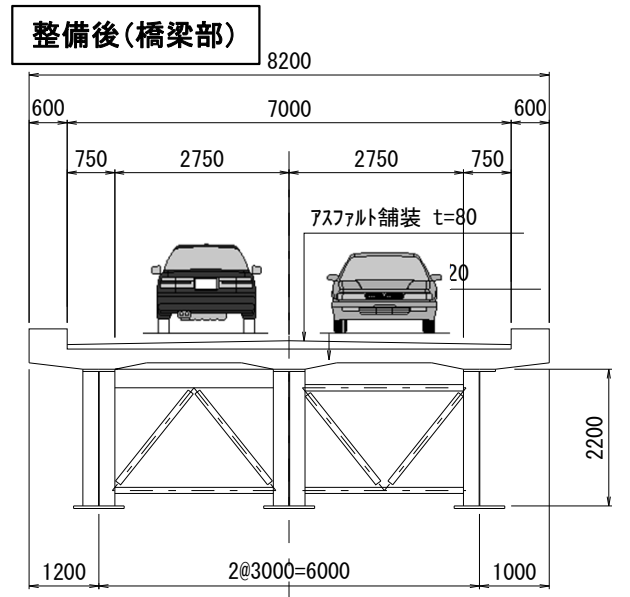
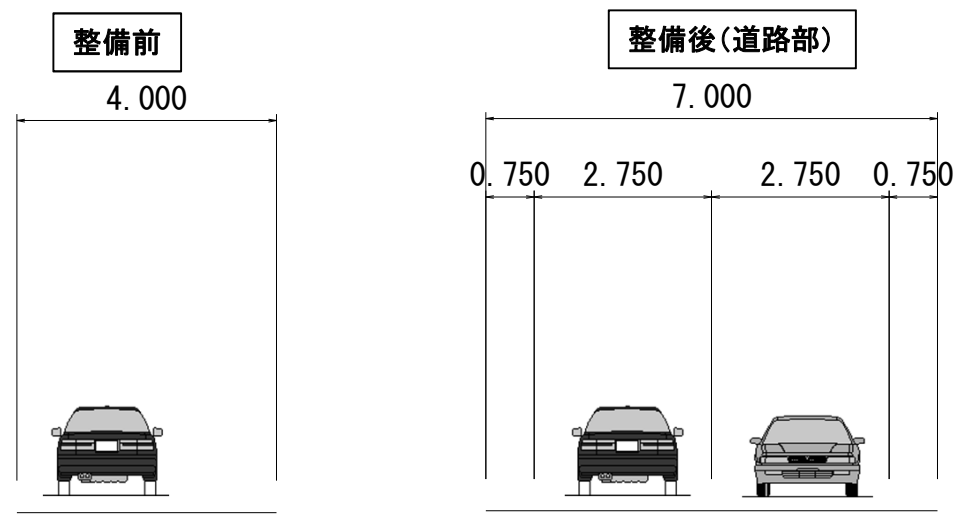
*R4年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

平面図



標準横断面図



3. 添付資料シート (2)



① バイパス橋梁区間



② 幅員が狭く、乗用車1台分が通れる幅員しかない



③ 幅員が狭く、乗用車1台分が通れる幅員しかない

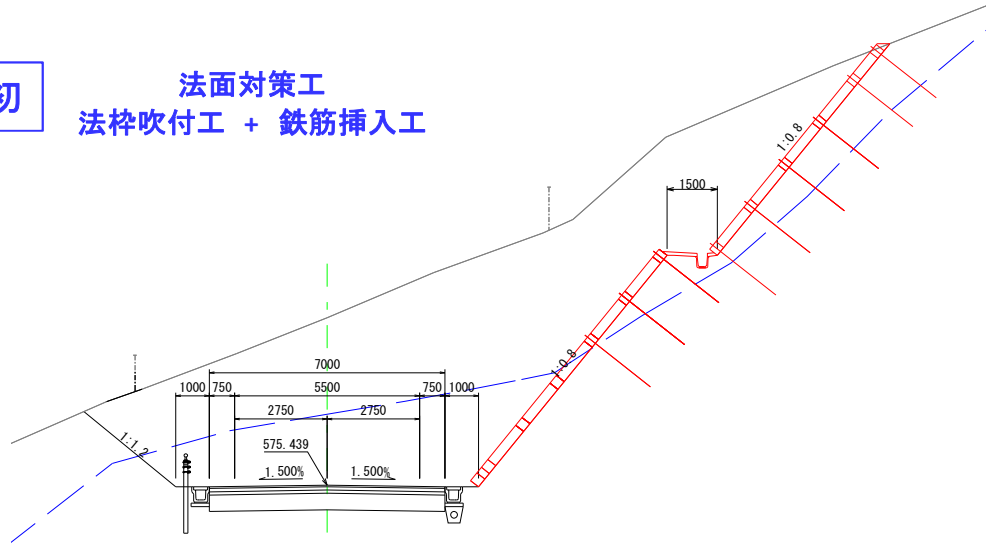


④ 幅員が狭く、乗用車1台分が通れる幅員しかない

事業費増の理由 法面構造物の変更

当初

法面对策工
法枠吹付工 + 鉄筋挿入工



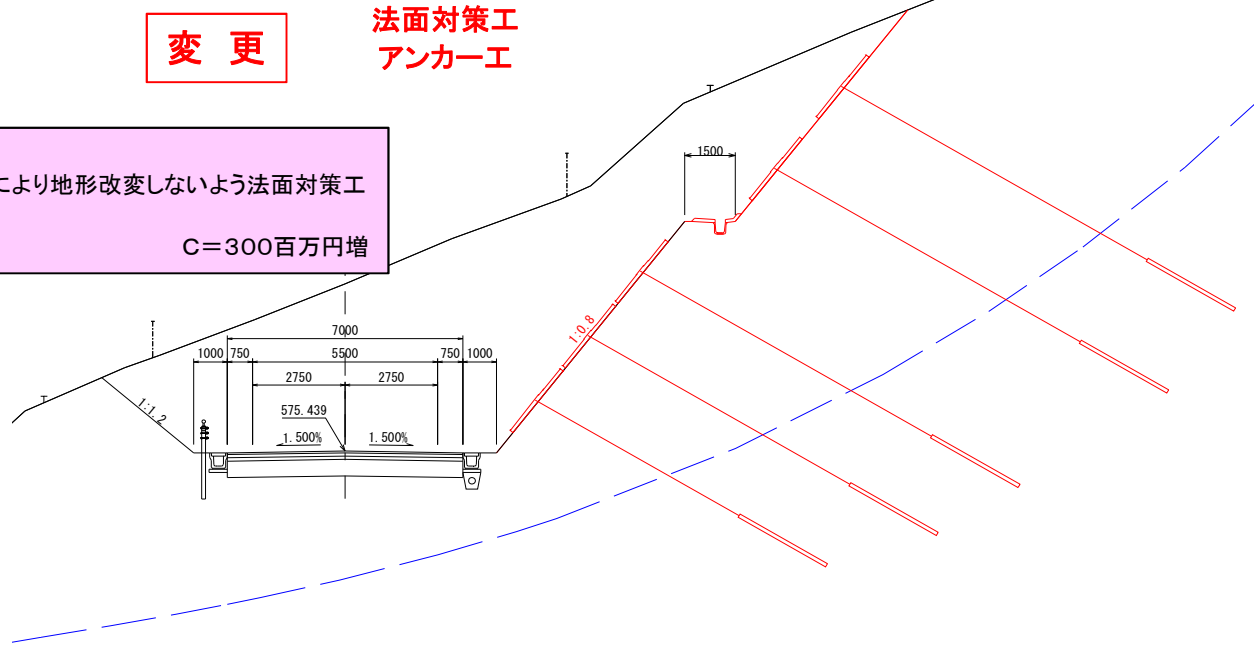
変更

法面对策工
アンカー工

【変更】

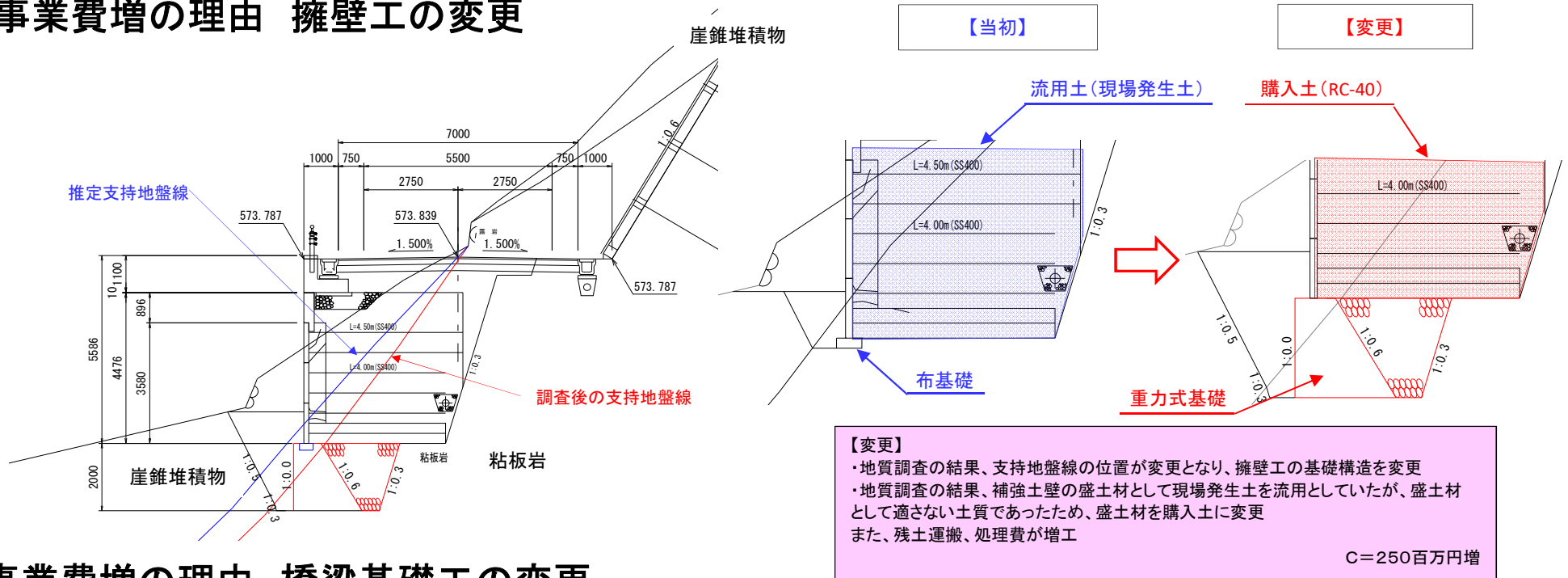
・地質調査の結果、脆弱な地質層厚が想定と異なっていたことにより地形改変しないよう法面对策工の構造を変更。

C=300百万円増

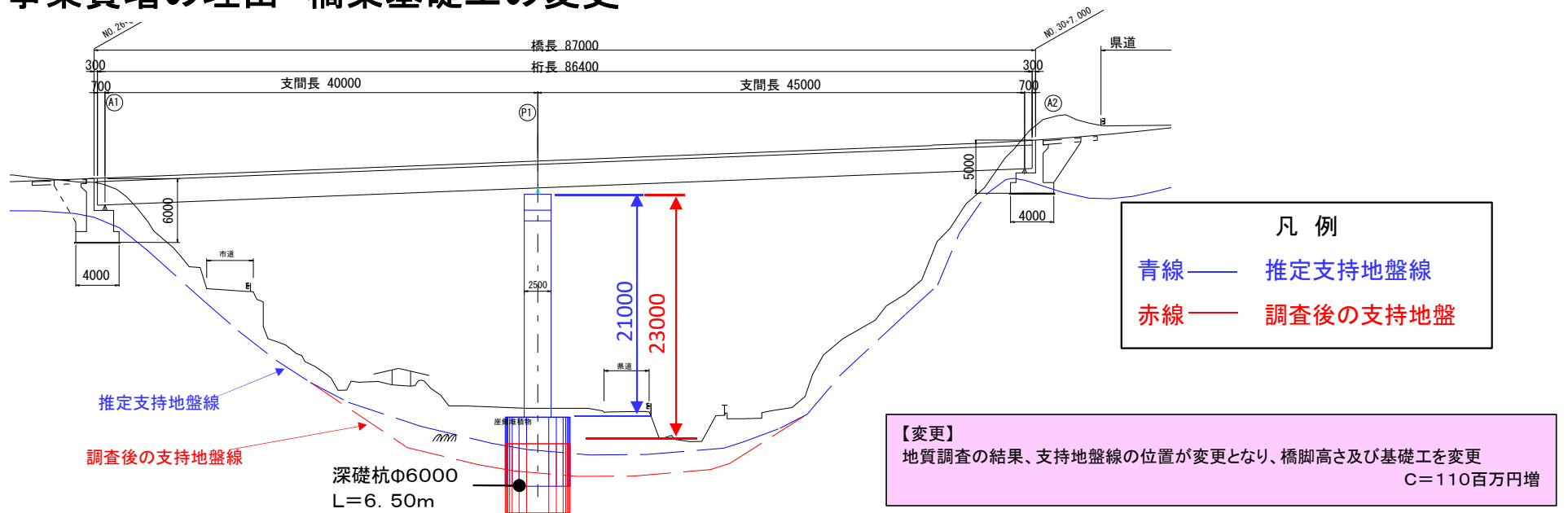


3. 添付資料シート (4)

事業費増の理由 擁壁工の変更



事業費増の理由 橋梁基礎工の変更



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H25	38,890	調査設計	2.5
H26	25,170	調査設計	4.1
H27	5,000	用地補償	4.4
H28	5,000	用地補償	4.7
H29	8,000	用地補償	5.3
H30	2,704	用地補償	5.4
R1	10,086	用地補償	6.1
R2	8,000	用地補償	6.6
R3	2,470	用地補償	6.8
R4	20,000	用地補償、水文調査	8.0
R5	105,000	用地補償、水文調査	14.8
R6	240,000	用地補償、道路改良、水文調査	30.1
R7	210,000	用地補償、道路改良	43.6
R8	150,000	道路改良、橋梁工	53.2
R9	130,000	道路改良	61.6
R10	200,000	道路改良、橋梁工	74.4
R11	200,000	道路改良、橋梁工	87.2
R12	120,000	道路改良	94.9
R13	79,680	道路改良、道路台帳整備	100.0
合計	1,560,000		